

1 単 元 世界に歩み出した日本

2 情報の交流を行う場面【まとめる場面】

日清・日露戦争前後の出来事について、キーワードになると考えたものを付せん紙に記入する。その後、グループで話し合っって日本に対して有利なことと不利なことを話し合い、それぞれを分けて台紙に貼る。

3 情報の交流により期待される効果

自他の付せん紙をグループで1枚の台紙に貼ることで、自分の考えを見つめ直し、考えを深めることができる。

4 指導計画（7時間完了）

- (1) 発展していく産業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 条約改正を目指して・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (3) 中国やロシアと戦う・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (4) 朝鮮を植民地にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (5) 日本の地位の変化を考えよう・・・・・・・・・・・・ 1時間（本時）
- (6) 国際社会で日本人が活躍する・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (7) 生活や社会の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の指導

- (1) 目標
 - 日清・日露戦争での出来事や朝鮮半島を植民地にしたことを記した付せん紙を、日本にとって有利か不利かの視点で分け、日本の地位が向上していったことに気付くことができる。
- (2) 準備
 - 教師……実物投影機 付せん紙を貼る台紙
 - 児童……出来事を要点でまとめた付せん紙
- (3) 指導過程

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価の観点と方法
5分	1 前時の復習をし、本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までに学習したことの要点をまとめた付せん紙の内容を確認する。 ○ 今の日本はどこの国にも支配されておらず、自由で平等であることに触れることで、どのようにして今のような日本になったのか関心をもてるようにする。 	○ 付せん紙の内容が確認できたか、発言や学習の様子からつかむ。
20分	2 出来事の要点をまとめた付せん紙を日本にとって有利か不利かの視点で分ける。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">日本の地位がどう変化したか考えよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日清・日露戦争前、日清戦争後、日露戦争後の3つに時期を分け、その中で起きた出来事を、グループで話し合っって、日本が有利なものや不利なものに、分ける。 	○ 付せん紙を有利不利の視点で貼り分けられたか、発言や学習活動の様子からつかむ。

	(5) (1) 日清・日露戦争前について分ける。	○ 戦争前の出来事について、どちらに分けるかを教師と共に全体で考え、分け方を確認する。	かむ。
	(10) (2) 日清・日露戦争について分ける。	○ 貼り分ける際に、班で判断が分かれ、悩んだときは、他の班の様子を見に行ってもよいことにする。	
	(5) (3) 班ごとに貼り分けた内容を発表する。	○ 付せん紙を貼った台紙を実物投影機で映しだして、一班一つずつ発表し、クラスの台紙を作る。	
10分	3 付せん紙の分けられ方を見て、分かることを班で話し合い、発表する。	○ 必要があれば、映し出したものにかきこんだり、印を付けたりすることもできることを伝える。	
10分	4 不平等条約の改正がどうやって行われたのかをまとめ、武力や政治以外にも日本の地位が向上する原因がないかを考え、次時の課題とする。	○ 気付いたことを班で話し合い、班の意見をまとめて発表する。 ○ 日本の地位の向上の要因を確認し、人々の願いや努力の結果であることをおさえる。	

○ 日本の地位が向上していったことに気付くことができたか、発言からつかむ。

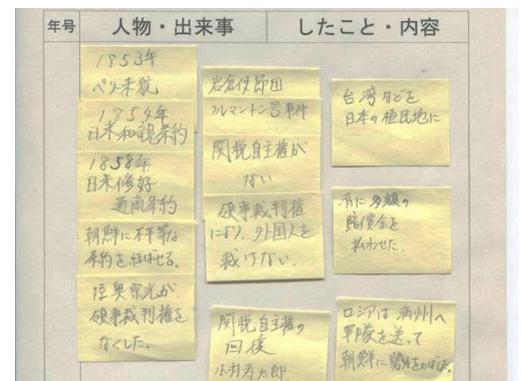
6 実践の様子

日清・日露戦争前後の出来事について書いた付せん紙を貼った台紙を見て、『陸奥宗光が領事裁判権をなくした』という付せん紙に対して「陸奥宗光は条約を改正したけど、全てを改正したわけではないよね。」「それは日本にとって有利とも不利とも考えられるから真ん中に貼っておこう。」など、出来事の内容を再確認し、話し合っ整理することができた。

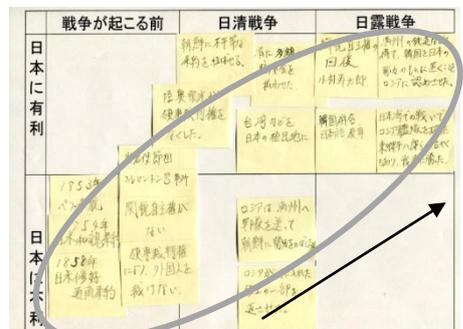
次に「貼り終えた台紙を見て、日本の地位がどう変化したのかを考えましょう。」と伝えた。子どもたちは「戦争の前には不利なことが多いよね。」「付せん紙の貼られているかたまりが右上がりになっているよ。」など、付せん紙の量が増えることで、日本の地位が徐々に向上していったことに気付くことができた。

7 成果と課題

- グループで話し合っ付せん紙を貼り分けたことで、出来事について再確認することができた。
- 友達の付せん紙と比較することで、自分では気が付かなかった出来事を振り返ることができた。また、情報量が増えたことで日本の地位が向上したことに気付くことができた。
- 一部の子どもが発言で付せん紙の貼る場所が決まってしまうグループもあったので、考えを深められない子どもがいた。



出来事を書き出した付せん紙



有利・不利の視点で貼り分けた台紙